

# 水道事業の概要について

## ■沿革（主な事業のみ）

- ・昭和44年 3月 事業認可 以降5回見直し
- ・昭和46年 8月 給水開始…栗坪取水場、高麗本郷配水池（現高麗本郷配水場内）  
（計画人口 8,500人、一日最大給水量 2,125m<sup>3</sup>）
- ・昭和49～50年度 第1次拡張…高岡浄水場、高麗本郷配水場 外  
（計画人口 34,000人、一日最大給水量 9,520m<sup>3</sup>）
- ・昭和52～60年度 第2次拡張…高萩浄水場、高萩取水場、北平沢取水場  
（計画人口 47,600人、一日最大給水量 16,000m<sup>3</sup>）
- ・昭和59～62年度 第3次拡張…高麗本郷取水場  
（計画人口 50,000人、一日最大給水量 17,000m<sup>3</sup>）
- ・昭和63～平成6年度 第4次拡張…県水導入、高岡配水場  
（計画人口 56,200人、一日最大給水量 23,300m<sup>3</sup>）
- ・平成8～12年度 第5次拡張…田波目配水場  
（計画人口 59,800人、一日最大給水量 28,700m<sup>3</sup>）
- ・平成13年度 駒高配水場（駒高地区への給水）
- ・平成18年度 山根配水場（埼玉医科大学国際医療センターへの給水）
- ・令和元年 9月 事業変更認可（高麗本郷取水場の浄水方法変更）  
（計画人口 56,200人、一日最大給水量 24,600m<sup>3</sup>）

## ■事業の状況

項目	令和2年度末	令和元年度末	比較
行政区域内人口	55,142 人	55,590 人	△ 448 人
給水人口	55,108 人	55,553 人	△ 445 人
給水戸数	24,360 戸	24,220 戸	140 戸
普及率	99.9 %	99.9 %	0 ポイント
年間配水量	7,763,495 m <sup>3</sup>	7,739,607 m <sup>3</sup>	23,888 m <sup>3</sup>
一日平均配水量	21,270 m <sup>3</sup>	21,146 m <sup>3</sup>	124 m <sup>3</sup>
一日最大配水量	23,915 m <sup>3</sup>	23,555 m <sup>3</sup>	360 m <sup>3</sup>
年間有収水量	7,204,417 m <sup>3</sup>	7,084,029 m <sup>3</sup>	120,388 m <sup>3</sup>
一日平均有収水量	19,738 m <sup>3</sup>	19,355 m <sup>3</sup>	383 m <sup>3</sup>
県水の割合	57.9 %	59.6 %	△ 1.7 ポイント

## ■経理・業務の状況

項目	令和2年度	令和元年度	比較
水道事業収益(税抜き)	1,182,939,833 円	1,136,872,536 円	46,067,297 円
うち水道料金(税抜き)	970,917,640 円	959,069,863 円	11,847,777 円
水道事業費用(税抜き)	1,042,541,165 円	1,055,584,706 円	△ 13,043,541 円
当年度純利益	140,398,668 円	81,287,830 円	59,110,838 円

項目	令和2年度	令和元年度	比較
資本的収入(税込み)※	698,170,000 円	374,134,000 円	324,036,000 円
資本的支出(税込み)	992,303,012 円	607,082,137 円	385,220,875 円
収支差引	△ 294,133,012 円	△ 232,948,137 円	△ 61,184,875 円

※令和元年度の資本的収入額は、翌年度への繰越工事資金（県補助金）1,000,000円を除く。

・資本的収入及び支出に対する不足額を補填する財源の内訳

項目	令和2年度	令和元年度	比較
繰越工事資金	1,000,000 円	0 円	1,000,000 円
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	52,528,204 円	33,592,027 円	18,936,177 円
過年度分損益勘定留保資金	107,147,657 円	72,133,657 円	35,014,000 円
減債積立金	83,457,151 円	77,222,453 円	6,234,698 円
建設改良積立金	50,000,000 円	50,000,000 円	0 円
合計	294,133,012 円	232,948,137 円	61,184,875 円

## ■企業債の残高

項目	令和2年度末	令和元年度末	比較
企業債年度末残高	1,747,350,640 円	1,191,007,791 円	556,342,849 円